

上田式豆播器の世界

なぜ博物館は同じような民具をたくさん集めるのか？



上田式豆播器（上：芽室町教育委員会蔵）／今金町指定文化財の上田式（右：ピリカ旧石器文化館）

2025年

7月26日（土）



9月28日（日）



道南の今金町で開発され、重労働だった播種作業から人々を解放し、一躍全道そしてブラジル移民にまで広まった上田式豆播器。北海道独自の農機具である「上田式」は、しかしその存在や実態が知られて居らず、民具や農機具の文献にも登場しません。

各地から「上田式」を集めて展示すると共に、普及の過程で小規模な形態変化を繰り返した「上田式」を事例に、博物館が同じような民具をたくさん集める意義と課題について紹介します。

主催：浦幌町立博物館

後援：道東三管内博物館施設等連絡協議会・十勝管内博物館学芸職員等協議会

協力：北海道博物館、今金町教育委員会、芽室町教育委員会、幕別町教育委員会、安平町教育委員会、厚真町教育委員会、富良野市博物館、美幌博物館、北海道博物館協会学芸職員部会

※シンポジウム：科学研究費補助金基盤研究（C）『「民俗資料」の収集保存基準と検索名称の開発：工場部品から日記まで』（研究代表者：宇仁義和）

シンポジウム

上田式豆播器にみる 民俗資料収集の意義と課題

2025年8月30日（土）

▶時間 13:30～17:00

▶場所 浦幌町立博物館

入館無料
申込不要

基調講演1 山際秀紀（北海道博物館学芸員）

基調講演2 宇仁義和（東京農業大学教授）



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です！

帯広～浦幌間 1380円（片道）

釧路～浦幌間 1800円（片道）

4月1日から運賃が改定になりました。



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館

The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ：電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1（図書館併設・役場となり）

E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>